



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社リログループ 上場取引所 東
 コード番号 8876 URL <https://www.relo.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 謙一
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 門田 康 (TEL) 03-5312-8704
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	148,568	21.1	8,878	2.2	9,592	2.5	6,312	1.4
2019年3月期第2四半期	122,642	11.3	8,687	20.9	9,355	21.3	6,225	22.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,926百万円(△13.3%) 2019年3月期第2四半期 6,835百万円(28.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	42.09	38.27
2019年3月期第2四半期	41.75	38.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	218,538	56,377	24.7
2019年3月期	148,477	54,507	35.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 53,930百万円 2019年3月期 52,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		税金等調整前当期純利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	11.6	22,500	17.9	14,100	8.4	93.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) BGRS Limited 、除外 1社(社名) -

(注)詳細は、添付資料9ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	152,951,200株	2019年3月期	152,951,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,942,769株	2019年3月期	3,644,737株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	149,986,712株	2019年3月期2Q	149,113,919株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結業績の概況(2019年4月1日～2019年9月30日)

当社グループは、日本企業の海外進出が活発化し、企業のグローバルな競争が激化する環境下において、「日本企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること」、「真のサムライパワーを発揮できるよう、日本企業の世界展開を支援すること」、また、これらの活動を通じ、「これから始まる日本の大転換になくてはならない存在になる」という使命のもと、「グローバル・リロケーションカンパニーNo. 1」というビジョンを掲げております。このビジョンの実現に向けて、2023年3月期を最終年度とする4ヵ年の中期経営計画「第三次オリンピック作戦」においては、市場シェアダントツNo. 1に向けた国内事業のさらなる強化に取り組むと同時に、世界の市場にリーチする土台作りに挑んでおります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりです。

売上高	1,485億68百万円	(前年同期比 21.1%増)
営業利益	88億78百万円	(前年同期比 2.2%増)
税金等調整前四半期純利益	101億67百万円	(前年同期比 9.1%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	63億12百万円	(前年同期比 1.4%増)

当第2四半期連結累計期間は、福利厚生事業の会員数が伸張したほか、国内リロケーション事業の借上社宅管理戸数や賃貸管理戸数が積み上がるなど、当社グループの事業基盤が拡大しました。また、BGRSが新たにグループ入りしたことも業績に寄与しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における税金等調整前四半期純利益は最高益を更新しました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 国内リロケーション事業

当事業は、企業福利厚生の住宅分野のアウトソーシングサービスとして、借上社宅管理を中心に物件検索等による転居支援等を提供するほか、寮や社宅物件の仲介、留守宅管理等を手掛けております。また、賃貸不動産の管理や仲介をはじめとした賃貸管理事業を展開するなど、企業の住宅に関する様々なニーズに応えるべく総合的にサービスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間は、借上社宅事業においては、企業におけるアウトソーシングニーズが高まっていることを背景に借上社宅管理戸数が積み上がったことから、管理手数料収入が伸張したほか、物件検索等の転居支援サービス利用件数も増加しました。賃貸管理事業においては、賃貸管理戸数が前年同期を上回って堅調に推移しました。

これらの結果、売上高1,075億18百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益37億98百万円（同1.0%増）となりました。

② 福利厚生事業

当事業は、企業の業務負担とコストを軽減し様々なコンテンツを従業員へ提供する福利厚生代行サービスや、提携企業向けに顧客特典代行サービス等を提供しております。また、関連事業として住まいの駆け付けサービスを手掛け、顧客会員の生活を総合的にサポートしております。

当第2四半期連結累計期間は、引き続き地方の営業を積極的に展開したことで福利厚生代行サービスにおける会員や顧客特典代行サービスを提供する企業の新規獲得が進み、会費収入が増加しました。また、関連事業である住まいの駆け付けサービスの顧客企業数が増加したことも業績に寄与しました。

これらの結果、売上高104億34百万円（前年同期比19.1%増）、営業利益34億95百万円（同22.4%増）となりました。

③ 赴任支援事業

当事業は、企業と赴任者を赴任から帰任に至るまで総合的にサポートすることで日本企業の海外進出を支援しており、海外赴任サポート、インバウンドサポート、駐在員規程・処遇コンサルティング等のサービスを総合的に提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、海外赴任時におけるビザや国際引越の手配件数が前年同期を上回って推移するなど、赴任支援サポートサービスやインバウンドサポートサービスの業績が伸張しました。

これらの結果、売上高30億29百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益6億64百万円（同12.3%増）となりました。

④ 海外事業

当事業は、グローバルに働く赴任者を支援すべく、日本企業が進出する世界の主要地域に拠点を展開し、現地における住宅斡旋や赴任者向けサービスアパートメントの運営等を手掛けております。また、当第2四半期連結会計期間にBGRSがグループ入りしたことにより、グローバル企業に対する赴任管理サービスの提供を開始しております。

当第2四半期連結累計期間は、北米を中心に赴任者向け住宅斡旋数が堅調に推移しました。また、新たに子会社化したBGRSも事業基盤の拡大に貢献しました。

これらの結果、売上高193億69百万円（前年同期比248.0%増）、営業利益10億69百万円（同121.5%増）となりました。

⑤ 観光事業

当事業は、福利厚生事業の会員基盤や、企業の保養所をはじめとした地方の中小型のホテル、旅館の運営ノウハウを活用し、ホテル運営事業と別荘のタイムシェア事業を展開するほか、後継者問題を抱えるホテル、旅館の再生にも取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、別荘のタイムシェア事業の業績が回復したほか、ホテル運営事業においては、保有施設のバリューアップサイクルが順調に進んだものの、前第2四半期連結累計期間に当期を上回る大型物件の売却があったことから、当期は減益となりました。

これらの結果、売上高79億67百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益16億72百万円（同22.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比して700億60百万円増加し、2,185億38百万円となりました。これは、当社が設立したRelo Group Ontario Inc.を通じて、BGRS Limited（旧社名 Brookfield RPS Limited）の株式を取得し、BGRS及びその子会社22社を連結子会社としたことが主な要因です。

負債合計は、前連結会計年度末に比して681億91百万円増加し、1,621億60百万円となりました。これは、BGRS株式の取得に当たり、金融機関3行から合計500億円の借入を実行したことが主な要因です。

純資産合計は、前連結会計年度末に比して18億69百万円増加し、563億77百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を63億12百万円計上した一方で、剰余金の配当が38億81百万円発生したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、想定通りに推移しており、2019年5月14日に発表した「2019年3月期決算短信」に記載の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,320	28,101
受取手形及び売掛金	16,333	54,477
販売用不動産	17,136	21,112
貯蔵品	773	718
前渡金	16,227	16,506
その他	9,595	9,829
貸倒引当金	△40	△30
流動資産合計	87,347	130,714
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,522	13,549
減価償却累計額	△3,748	△3,932
建物（純額）	9,773	9,617
工具、器具及び備品	2,083	2,751
減価償却累計額	△1,678	△1,764
工具、器具及び備品（純額）	404	987
土地	6,291	6,329
その他	1,755	3,485
減価償却累計額	△951	△1,132
その他（純額）	804	2,353
有形固定資産合計	17,274	19,287
無形固定資産		
ソフトウェア	3,133	3,447
のれん	9,152	30,244
その他	26	1,103
無形固定資産合計	12,312	34,794
投資その他の資産		
投資有価証券	13,086	14,059
敷金及び保証金	13,611	13,745
その他	4,868	5,988
貸倒引当金	△58	△78
投資その他の資産合計	31,507	33,715
固定資産合計	61,094	87,797
繰延資産		
社債発行費	33	24
その他	1	1
繰延資産合計	34	25
資産合計	148,477	218,538

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,842	7,841
短期借入金	5,568	56,622
1年内返済予定の長期借入金	1,950	1,962
未払法人税等	3,599	3,076
前受金	19,247	20,272
賞与引当金	943	789
その他	11,032	23,530
流動負債合計	46,184	114,094
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	26,197	25,885
社債	1,100	800
長期借入金	12,238	11,507
長期預り敷金	6,932	6,939
退職給付に係る負債	276	271
その他	1,039	2,662
固定負債合計	47,785	48,065
負債合計	93,969	162,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,667	2,667
資本剰余金	2,869	2,722
利益剰余金	52,730	52,024
自己株式	△6,691	△3,551
株主資本合計	51,575	53,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	523	573
為替換算調整勘定	124	△511
退職給付に係る調整累計額	6	6
その他の包括利益累計額合計	654	68
新株予約権	12	59
非支配株主持分	2,265	2,387
純資産合計	54,507	56,377
負債純資産合計	148,477	218,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	122,642	148,568
売上原価	100,743	120,213
売上総利益	21,899	28,354
販売費及び一般管理費	13,212	19,476
営業利益	8,687	8,878
営業外収益		
受取利息	320	320
受取配当金	5	10
持分法による投資利益	382	674
その他	104	212
営業外収益合計	812	1,216
営業外費用		
支払利息	78	257
為替差損	31	204
その他	34	40
営業外費用合計	144	503
経常利益	9,355	9,592
特別利益		
固定資産売却益	54	185
投資有価証券売却益	—	418
その他	—	0
特別利益合計	54	604
特別損失		
固定資産売却損	47	13
その他	42	15
特別損失合計	89	29
税金等調整前四半期純利益	9,320	10,167
法人税、住民税及び事業税	2,855	3,340
法人税等調整額	178	311
法人税等合計	3,034	3,652
四半期純利益	6,286	6,515
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	202
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,225	6,312

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	6,286	6,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	54
為替換算調整勘定	512	△603
持分法適用会社に対する持分相当額	△58	△40
その他の包括利益合計	549	△589
四半期包括利益	6,835	5,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,776	5,726
非支配株主に係る四半期包括利益	59	200

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,320	10,167
減価償却費	637	1,011
のれん償却額	358	753
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△181	△150
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△58	△4
受取利息及び受取配当金	△325	△330
支払利息	78	257
持分法による投資損益 (△は益)	△382	△674
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△418
売上債権の増減額 (△は増加)	3,773	1,049
たな卸資産の増減額 (△は増加)	912	△2,066
仕入債務の増減額 (△は減少)	△922	2,559
固定資産売却損益 (△は益)	△7	△170
未払金の増減額 (△は減少)	42	△834
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	△306	△134
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	26	△9
その他	503	△3,647
小計	13,473	7,369
利息及び配当金の受取額	229	357
利息の支払額	△85	△257
法人税等の支払額	△1,725	△2,868
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,891	4,600
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,259	△1,037
有形固定資産の売却による収入	141	589
ソフトウェアの取得による支出	△894	△667
投資有価証券の取得による支出	△287	△108
投資有価証券の売却による収入	0	507
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△368	△49,463
その他	△197	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,866	△50,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,380	51,075
長期借入金の返済による支出	△1,118	△1,796
長期借入れによる収入	—	1,078
社債の償還による支出	△300	△300
自己株式の処分による収入	1	1
配当金の支払額	△3,278	△3,880
非支配株主への配当金の支払額	△44	△49
その他	△26	△381
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,148	45,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	△157	△417
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	719	△198
現金及び現金同等物の期首残高	27,933	27,432
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△33	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,620	27,233

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	国内リロケーション事業	福利厚生事業	赴任支援事業	海外事業	観光事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	96,436	8,764	2,995	5,565	8,535	122,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	61	46	33	8	171
計	96,457	8,826	3,042	5,598	8,544	122,469
セグメント利益又は損失(△)	3,761	2,855	591	482	2,151	9,842

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	345	122,642	—	122,642
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	178	△178	—
計	351	122,821	△178	122,642
セグメント利益又は損失(△)	△24	9,817	△1,130	8,687

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業等であります。
2. セグメント利益の調整額△1,130百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,119百万円、子会社株式の取得関連費用△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「国内リロケーション事業」セグメントにおいて、株式取得により4社を連結子会社化しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において483百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	国内リロケーション事業	福利厚生事業	赴任支援事業	海外事業	観光事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	107,518	10,434	3,029	19,369	7,967	148,319
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	59	58	45	11	199
計	107,544	10,494	3,087	19,414	7,978	148,518
セグメント利益	3,798	3,495	664	1,069	1,672	10,699

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	249	148,568	—	148,568
セグメント間の内部売上高又は振替高	76	275	△275	—
計	325	148,844	△275	148,568
セグメント利益	△31	10,668	△1,789	8,878

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額△1,789百万円には、セグメント間取引消去△14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,291百万円、子会社株式の取得関連費用△483百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」において、当社が設立したRelo Group Ontario Inc.を通じて、BGRS Limited (旧社名 Brookfield RPS Limited) の株式を取得し、BGRS Limited及びその子会社22社を連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては21,623百万円であります。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、4年毎の中期経営計画である「第一次オリンピック作戦」および「第二次オリンピック作戦」期間中に大きく成長しました。現在は、2020年3月期を初年度とする4ヵ年の中期経営計画「第三次オリンピック作戦」を開始しておりますが、本中期経営計画では、使命・ビジョンの実現に向け、国内市場シェアダントツNo.1に向けた国内事業のさらなる強化に取り組むと同時に、世界の市場にリーチする土台作りにも挑んでまいります。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より、各事業間におけるシナジーとシステム投資などの経営資源配分をより効率的に実施することを目的に、経営管理体制を再構築し、事業セグメントを変更いたしました。

具体的には、報告セグメントを従来の「国内事業」、「海外事業」から、「国内リロケーション事業」、「福利厚生事業」、「赴任支援事業」、「海外事業」、「観光事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。